

科目名称	建築空間のデザイン			授業コード	20012190
担当教員	花田 佳明				
単位数	2.0	授業形態	講義	科目分類	選択
年次	2	開講年度	2019	開講学期	後期
関連資格	教職、インテリアプランナー、建築士				
履修制限等					
到達目標(目的含む)	「建築空間」という概念を成立させている論理的枠組みの基礎を理解するとともに、それに基づいて、新たな建築デザインの可能性について考察する能力を身につける。				
授業の概要	建築空間のデザインに関わるいくつかの基礎的な概念について講義する。物の関係性として建築空間を定義した上で、床・壁・天井という構成要素間の規則を論じる「統辞論」、建築空間が何らかの文脈上で意味を生み出すメカニズムについて論じる「意味論」、建築空間と社会との関係を論じる「実用論」から構成されている。 担当教員はかつて大手建築設計事務所に勤務しており、そこでの実務経験に基き、以上の内容をさまざまな事例を通して具体的に解説する。				
授業計画	1: はじめに、建築の多様性について 2: 建築空間の構造について考える(1) -「建築空間」の発見 3: 建築空間の構造について考える(2) -建築空間は何によってどうつくられるのか-1(床の役割) 4: 建築空間の構造について考える(3) -建築空間は何によってどうつくられるのか-2(床と天井の役割) 5: 建築空間の構造について考える(4) -建築空間は何によってどうつくられるのか-3(壁の役割) 6: 建築空間の意味について考える(1) -建築においても「意味」と呼びたくなるものがある 7: 建築空間の意味について考える(2) -建築における意味表現の諸相-1 8: 建築空間の意味について考える(3) -建築における意味表現の諸相-2 9: [幕間]建築に関する情報はどこにあるか 10: プログラムとビルディングタイプについて考える(1) -コンビニから学ぶもの 11: プログラムとビルディングタイプについて考える(2) -美術館から学ぶもの 12: プログラムとビルディングタイプについて考える(3) -社会とプログラムとビルディングタイプ 13: リノベーションについて考える(1) -市井の建物のリノベーション 14: リノベーションについて考える(2) -文化財的価値をもつ建物のリノベーション 15: 建築を設計するという行為の構造について考える				
授業時間外学習	適宜、授業中に指示する。				
評価方法	途中の小レポート、および最終レポートによって総合的に判定する。				
課題・試験に対するフィードバックの方法					
使用テキスト	プリントを適宜配布し、特定のテキストは使用しない。				
参考テキスト・URL	授業の中で適宜紹介する。				
各自準備物					
実習費					
その他					